



報道関係各位

2012年2月27日

TIS 株式会社

**TIS、オラクルの連結会計パッケージを用いた
『TIS 制管一致連結会計ソリューション for HFM』の提供を開始
－IFRS 対応を視野に入れたグループ経営管理の高度化を実現－**

ITホールディングスグループのTIS株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:桑野 徹、以下TIS)は、日本オラクル株式会社(以下日本オラクル)の連結会計パッケージ「Oracle Hyperion Financial Management(以下 Oracle HFM)」(※1)をベースに、コンサルティングからシステム設計・構築を短期間・低コストで実現する『TIS 制管一致連結会計ソリューション for HFM』を4月1日より提供することを発表します。

本ソリューションは、TISが2010年より提供している「IFRS 個別論点对応支援サービス」(※2)の第3弾となる「IFRS 連結会計ソリューション」として位置づけられるもので、IFRS 対応を視野に入れたグループ経営管理の高度化を実現します。

近年、企業活動の多角化・グローバル化の加速により、海外拠点を含む連結ベースでの経営管理やグループ全体の企業価値最大化が大きな経営課題となっています。また、会計制度面でも、将来のIFRSの適用を控え、連結ベースでの制度会計と管理会計の一致、いわゆる“制管一致”の実現が求められています。

『TIS 制管一致連結会計ソリューション for HFM』は、将来のIFRS対応を見据え、マネジメントアプローチを実現するグループ経営管理基盤の構築、制度連結業務プロセスの効率化、複数会計基準への対応、現地基準とIFRS基準との組替仕訳といったグループ経営管理が求められる企業や、既にHyperion製品をご利用中の企業のためのソリューションです。企業の方針検討、業務プロセスを整備するコンサルティングから、それに対応したシステムの導入・運用までをワンストップで支援し、短期間・低コストで「Oracle HFM」の最新標準機能をベースに制管一致の連結会計システムを構築します。

(詳細は http://www.tis.jp/service_solution/hfm_template/ をご参照ください。)

■ 『TIS 制管一致連結会計ソリューション for HFM』の概要

『TIS 制管一致連結会計ソリューション for HFM』は、「Oracle HFM」をベースに、グループ経営管理の高度化に向けた取り組みを支援する「コンサルティングサービス」、今後の制度変更への継続対応を考慮しながらテンプレートを活用して効率的にシステム構築する「システム構築サービス」の2つから構成されています。

(1) コンサルティングサービス

コンサルティングサービスは、日本オラクルの「連結経営管理アセスメントサービス」(※3)と、TISの独自ノウハウである「IFRS 導入方法論」の組み合わせにより、連結会計対応上の課題解決を支援します。これらの導入方法論により、IFRS要件を押さえた「Oracle HFM」の短期間・効率的な導入を行い、グループ経営管理の高度化を実現します。

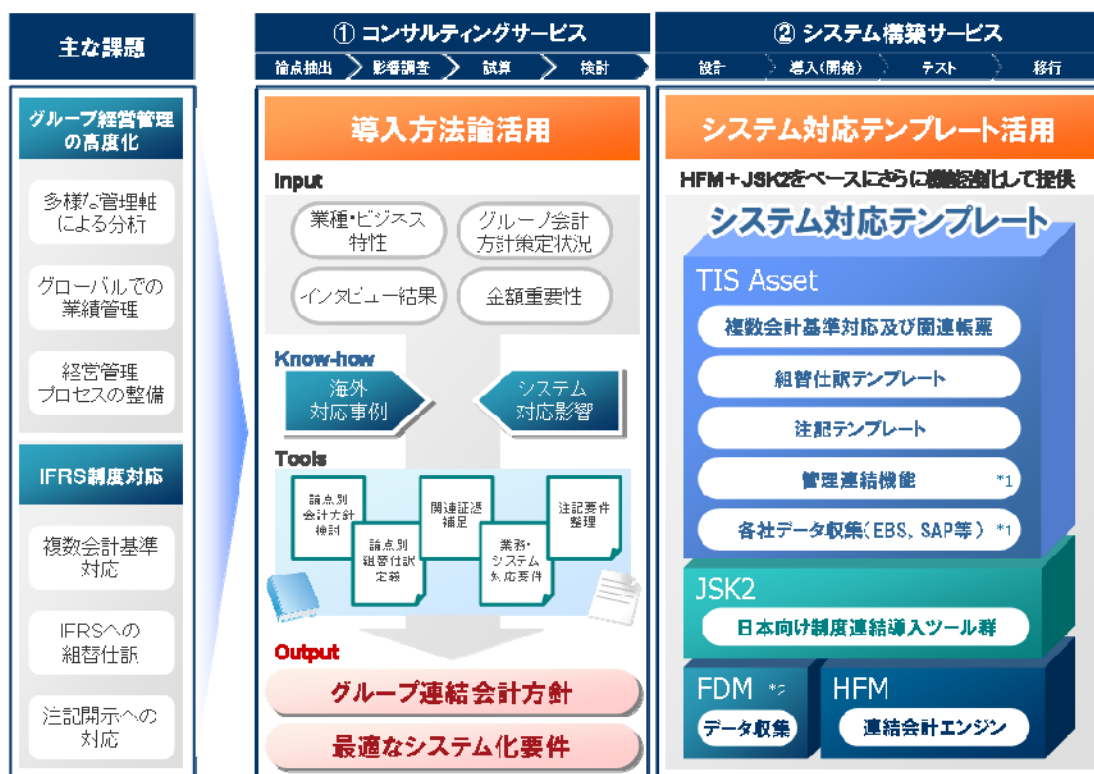
TIS の「IFRS 導入方法論」は、監査法人の監修により、豊富な事例をベースに開発・体系化した方法論です。影響調査を行うインタビューシート、システム対応案のスコアリング評価シートなどの各種ツールを活用することで、短期間で質の高い IFRS 対応方針検討作業を実現します。

(2) システム構築サービス

システム構築サービスは、オラクルの連結会計パッケージ「Oracle HFM」の日本の制度連結対応を支援する短期導入ツール群の最新版である Japan Starter Kit2(以下 JSK2)(※4)をベースに、TIS の豊富な制管一致対応システム構築の実績に基づく知見とノウハウを活用した「システム対応プレート」を使い、IFRS 対応プロセス整備・システム導入を行います。

JSK2 を活用することで、資本連結や固定資産の未実現消去などの制度連結への対応が強化され、制度連結と管理連結の統合的なシステム構築や運用管理の効率化が可能になります。同時に TIS の「システム対応プレート」を使用することで、システムの導入費用の低減、期間の短縮を実現します。既に「Oracle HFM」を利用している場合は、会計システムとの連携機能強化や運用費用の削減が可能となります。

<『TIS 制管一致連結会計ソリューション for HFM』全体概要図>



*1 2012年度第4四半期決算発表予定

*2 FDM(Financial Data Management) : HFMと各社会計システムとのデータ連携モジュール

■ 『TIS 制管一致連結会計ソリューション for HFM』の特長

(1) コンサルティングサービス

- 日本オラクルの「連結経営管理アセスメントサービス」と TIS の「IFRS 導入方法論」を組み合わせることで、IFRS 要件を押さえた「Oracle HFM」の短期間・効率的な導入を行い、グループ経営管理の高度化を実現
- 過去事例や業務知見より、経営管理の高度化のための業務プロセスの整備や、各種 KPI 策定を支援
- システム対応事項明確化による RFP 作成コストの削減
- 影響調査だけでなく、網羅的かつ具体的な対応策やシステム化要件定義までを短期間で整理

(2) システム構築サービス

- ・ 管理連結の基礎モデルの組み込みが可能
- ・ IFRS 適用に向け、対応機能が実装済(注記機能効率化など、多数の機能を実装)
- ・ 「Oracle HFM」の標準機能を重視することにより保守性・拡張性が向上
- ・ グローバルに豊富な稼働実績のある「Oracle HFM」による、高度な管理連結要件に耐え得るシステム基盤を構築
- ・ テンプレートを活用することにより、追加開発コストを削減
- ・ 同一システム基盤での制度連結・管理連結の実現によるシステム運用コスト削減
- ・ オラクルの JSK2 の構築プロジェクトへ参画し、他社に先駆けて Oracle HFM 及び JSK2 への知見・技術力を蓄積

■ 提供開始時期

2012年4月1日より順次提供開始

■ 提供予定価格

(1) コンサルティングサービス : 300万円(税別)～

※上記金額は、主要な連結対象会社2～3社に対して、2ヶ月程度で実施した場合の参考価格です。調査対象会社数、業務・システムの共通化度合い、期間などにより変動します。

(2) システム構築サービス : 2,000万円(税別)～ / 導入期間:5ヶ月～

※上記金額は、社数、追加要件などにより変動します。Oracle HFMライセンス、ハードウェアに関する費用は含みません。

■ 今後の展開

『TIS 制管一致連結会計ソリューション for HFM』では、今後、海外や国内の主要 ERP とのデータ連携機能強化等、さらなる連結会計の効率化・高度化に向けた取り組みにより、今後5年間で30件の導入を目指します。

また、TISでは、経営課題への対応に役立つ情報を提供するセミナーや勉強会の開催などを通して、お客様の課題解決に向けた活動を継続的に行ってまいります。

■ 日本オラクル株式会社のコメント

日本オラクルは、このたびのTIS株式会社による『TIS 制管一致連結会計ソリューション for HFM』の提供開始を歓迎します。「Oracle Hyperion Financial Management」は、グローバル、グループ経営を目指す企業に豊富な実績を持ちます。「Japan Starter Kit 2」は、その実績をもとに、日本独自に必要な要件を反映してオラクルの製品開発部門により構築されたものです。TIS株式会社はJapan Starter Kitの開発プロジェクトにも積極的に参画いただきました。「Oracle Enterprise Performance Management」製品への深い理解とお客様への豊富な導入経験に基づき構築された新テンプレートは、グループ経営によりグローバル競争力強化を狙う日本企業のニーズに応えるものと期待しています。

日本オラクル株式会社 執行役員 製品事業統括
EPM/BI製品統括本部長
関屋 剛

※1:「Oracle Hyperion Financial Management」について

グループ各社から収集した財務データに対して、外貨換算、会計基準の組替えや連結処理を行い、外部報告と内部管理用途のレポートや分析機能を包括的に提供する連結管理アプリケーションです。

※2:「IFRS 個別論点对応支援サービス」について

TISでは、2009年10月より「IFRS対応支援サービス」を提供しています。同サービスの一つである「IFRS個別論点对応支援サービス」は、「固定資産管理」、「金融商品会計」、「連結会計」といったIFRS適用により既存の業務プロセスやシステムへの影響が特に大きい領域に対して支援を行います。TISの専門部隊がコンサルティングからシステム導入までをワンストップで支援し、現場の業務負荷を抑えた効率的なIFRS対応や着実なシステム導入・改訂などを実現します。

(詳細は、http://www.tis.jp/service_solution/ifrs/をご覧ください。)

※3:「連結経営管理アセスメントサービス」について

「連結経営管理アセスメントサービス」は、「Oracle Hyperion Financial Management」の導入をご検討いただくお客様を対象にしたものです。本サービスでは、制度連結の法制度改正等への対応だけでなく、過去の国内外の実績をもとに、グローバル展開を進めるうえで必要となる連結管理システムの構想および企画推進を導入検討段階から支援します。本サービスは、日本オラクルまたは日本オラクルのパートナー企業のコンサルタントによって提供されます。

※4:「Japan Starter Kit 2」について

「Japan Starter Kit 2」は、オラクルの連結管理アプリケーション「Oracle Hyperion Financial Management」を活用した日本の制度連結対応を支援する短期導入ツール群の最新版です。

◆TIS 株式会社について

2011年4月、ITホールディングスグループのTIS(株)、ソラン(株)、(株)ユーフィットが合併し「新生TIS」が発足しました。多彩なソリューションと国内トップクラスの総面積約10万㎡のデータセンターをフル活用し、SI受託開発からアウトソーシングサービス、クラウドサービスまで全方位型のITサービスをワンストップで提供しています。

◆ITホールディングスグループについて

ITホールディングスグループは、様々なお客様をITで支援するITエキスパート集団です。進化し続ける企業グループとして、グループ各社の個性を活かし総合力で応えます。

【本件に関する問い合わせ先】

<報道関係お問い合わせ先>

TIS株式会社

企画本部 営業推進部

担当:浄土寺、畠山

TEL: 03-5337-4232 e-mail: info@tis.co.jp

<サービスに関するお問い合わせ先>

TIS株式会社

ITソリューションサービス本部 ITソリューションサービス事業部 マーケティング担当

担当:伊丹、河口

TEL:03-5337-4345 FAX:03-5337-6231 e-mail:solution@tis.co.jp

* Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。